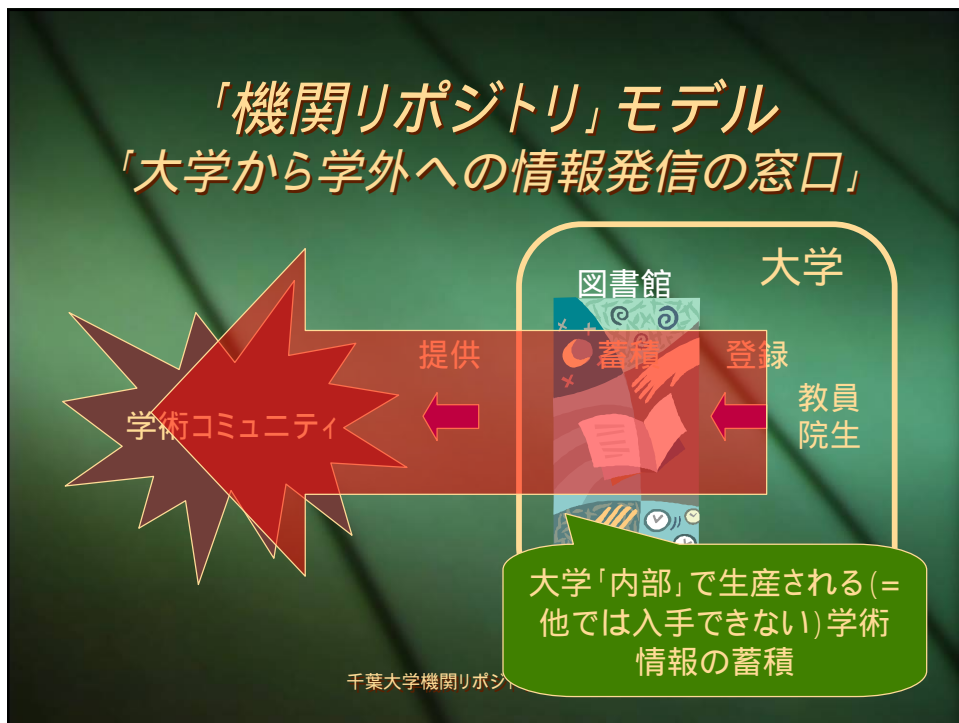
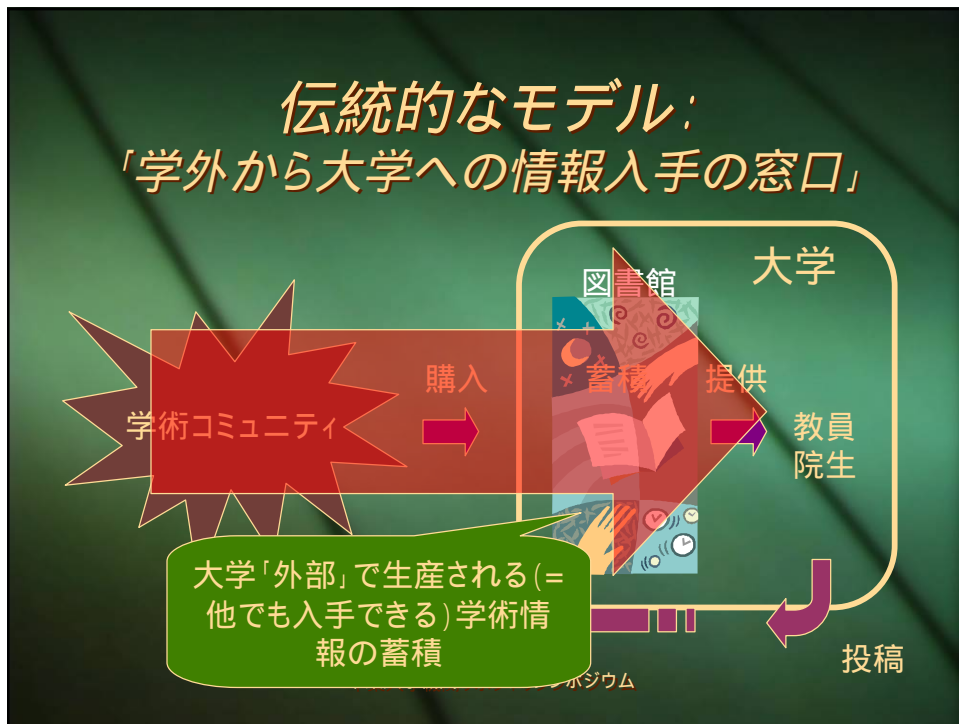


# 図書館と デジタル・プリザーベーション

竹内比呂也  
(千葉大学文学部)

## アウトライン

- 「機関リポジトリ」についての再確認
- 大学の説明責任
- プリザーベーションの必要性
- デジタル・プリザーベーションのための技術
- 大学図書館とプリザーベーション



千葉大学機関リポジ

## 大学の説明責任とは何か？

- 「説明責任」(Accountability)
  - 理解してもらうために必要な情報を提供すること
    - 大学における**研究成果の提示**(機関リポジトリそのもの)
    - 教育における**授業資料の提示**
    - その他の**事務管理上の記録類の提示**

千葉大学機関リポジトリシンポジウム

## 機関リポジトリとプリザーベーション

- 「情報発信」を安定的に行うためには、その基盤として「蓄積」が必要
- 例えば教員個人ではなく「機関」がこれを行うことの意義は、
  - 「永続性」の保証>> **プリザーベーション(保存)**
  - 「安定的」なアクセスの実現
  - メタデータ等の「付加価値」

**リポジトリとプリザーベーションは表裏一体**

千葉大学機関リポジトリシンポジウム

## プリザーベーションとは

- 情報を永続的に利用可能とするために残していくこと
  - かつては紙の劣化が問題(酸性紙問題)
    - しかしこれも今日新たな課題となっている
  - 今日的には「電子情報の保存」が中心的な話題 **< デジタル・プリザーベーション >**

千葉大学機関リポジトリシンポジウム

## デジタル・プリザーベーション

- 紙媒体の資料を残すよりも厄介
  - 「媒体の保存」 = 「記録されている情報の保存」とは言えない。
  - 記録されている情報内容がちゃんと残っていたとしても再生できなければ意味がない。
  - 紙の資料のように「偶然残る」ことにはあまり期待ができない。

千葉大学機関リポジトリシンポジウム

## デジタル・プリザーベーション

- 何をしなければならないか？
  - プリザーベーション計画の策定(「あとからやれば良い」では遅すぎる可能性がある)
  - エミュレーション / マイグレーションなど技術の適用
  - 保存履歴の作成

千葉大学機関リポジトリシンポジウム

## デジタル・プリザーベーションの技法

- ハードウェア / ソフトウェアなどを含めたコンテンツの保存
  - 例えば”8インチ”FDとそのドライブを保存する
    - あまり現実的とは言えない
- エミュレーション(模倣)
  - ソフトウェアによって、本来とは異なるシステム上で、同等の機能を持たせることにより、コンテンツへのアクセスを可能にする

千葉大学機関リポジトリシンポジウム



## デジタル・プリザーベーションの技法

- マイグレーション(移し替え)
  - 技術の変化にあわせて、それに適合するようにコンテンツを変換していく
    - 媒体変換は技術的にはそれほど難しくはない
    - 必ずしも「オリジナル」の持つ精度を保つことができる保証はない。

千葉大学機関リポジトリシンポジウム

## デジタル・プリザーベーションの技法

- メタデータの作成
  - 「保存用メタデータ」の必要性
    - 記録されているコンテンツがどのような環境でどのように動作するものか(利用できるのか)を記述
    - 例えば、PREMIS *“Data Dictionary for Preservation Metadata”*(2005)

千葉大学機関リポジトリシンポジウム

## 現時点での問題

- デジタル・プリザーベーションについての意識が低い
- 多くの機関が「保存」についての方針を持っていない
- 決定的な技術がない
- 経費、人的資源

千葉大学機関リポジトリシンポジウム

## 大学図書館と デジタルプリザーベーション

- 「機関リポジトリ」の運営
  - 機関内で生産された電子的な情報の蓄積が形成される
  - このプリザーベーションについては図書館が責任を持たざるを得ない
  - どうせ機関リポジトリに蓄積されているものについてプリザーベーションを考えないといけないのだから、学内で生産される様々な電子的な情報について、一括して図書館がアーカイブ機能を持てば良いではないか！？

千葉大学機関リポジトリシンポジウム

## なぜなら...

- 大学内でプリザーベーションにとって必要な「メタデータ」について最も精通してるのはライブラリアンであり、ライブラリアンがこれに取り組むのが最も経済的である。
- 既に「機関リポジトリ」開発において、学内で生産される情報の蓄積とメタデータの付与のためにそれなりの基盤ができています。
- ライブラリアンが一定程度の専門性を発揮できる仕事であり、ライブラリアンの地位の強化につながる。

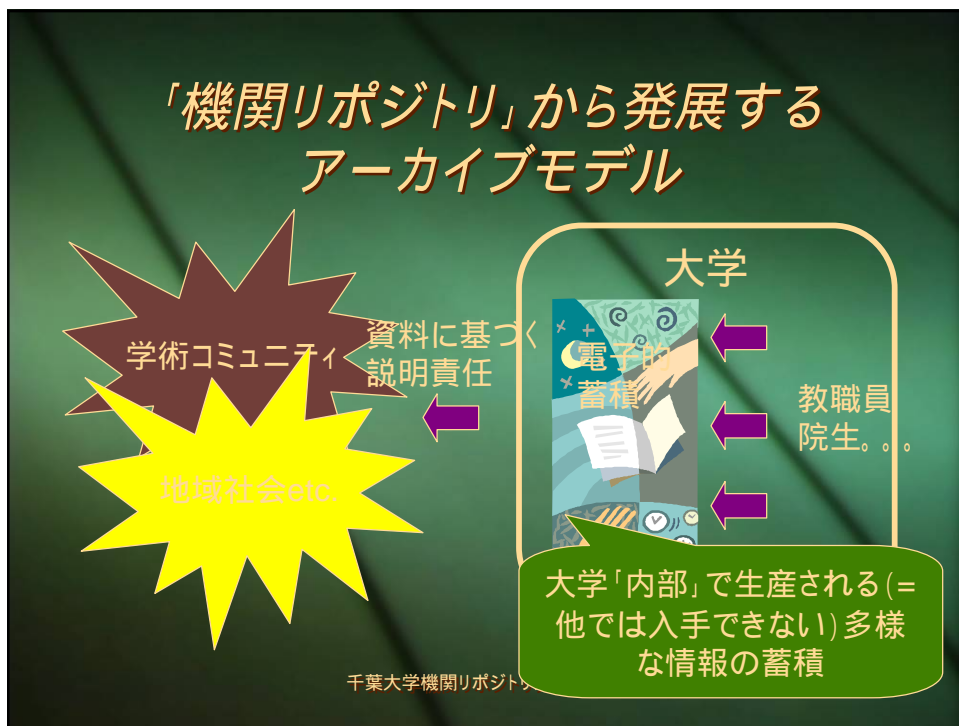
千葉大学機関リポジトリシンポジウム

## コーネル大学図書館の例

- 図書館がUniversity Archives (大学文書館) としての機能を果たす
- *Cornell University Library Digital Preservation Policy Framework (2004)*
- “Mandate”
  - Scholarship
  - Institutional records
  - Legal obligation
  - Organizational commitment
  - Consortial and contractual obligations

千葉大学機関リポジトリシンポジウム





### とりあえずの結論として...

- 機関リポジトリは、学内における大学図書館の役割を変える契機となる可能性がある。**<アーカイブ機能の付加>**
- それは大学図書館の基盤強化という意味で悪い変化ではないはずである。
- そのような基盤の強化の上に、どのようなサービスを行っていくかを考える必要がある。

大学図書館は大学が説明責任を果たし、社会貢献していくための基盤である。

べきである。

千葉大学機関リポジトリシンポジウム